

注)

- 1 総会に提出した第1号議案から第3号議案は、情報公開資料を参照してください。なお、その他議案は省略しています。
- 2 議事録署名は、個人情報保護のため記名のみとさせていただいております。

## 社団法人庄和町シルバー人材センター第26回定期総会議事録

日 時 平成15年3月20日(木)午後1時30分～午後3時20分  
場 所 埼玉県北葛飾郡庄和町大字米崎389番地3  
庄和町社会福祉センター 大和室

会 員 数 355名

出席会員数 170名 委任状92名 欠席者93名

### 議決事項

第1号議案 平成14年度収支補正予算(第2号)(案)について

第2号議案 平成15年度事業計画書(案)について

第3号議案 平成15年度収支予算(案)について

その他議案 平成15年度会員互助会収支予算(案)について

### 1 議長選任の経過

司会者である理事の遠藤 壽一が議長の選出方法について議場に諮れば、司会者一任の声あり、司会者は、このことについて議場に諮れば全員異議なく承認を得た。司会者はこれに基づき会員の水谷 善弘氏を指名し同氏が議長に選任された。

議長は、資格審査報告を行い、総会開催成立を宣言した。

### 2 議事録署名人の選任及び書記任命について

このことについて、議長が議場に諮ったところ議長一任の声があり、よって議長は、議事録署名人に正会員の西留 廣志氏、同じく井上 喜代子氏、書記に事務局の池田 秀樹、木村 和子を指名し全員の賛同を得て任命した。

### 3 議事の経過の概要及びその結果

議長は、第1号議案 平成14年度社団法人庄和町シルバー人材センター収支補正予算書(第2号)(案)について事務局長に説明を求めた。

事務局長は、今回の補正は、予算総額を補正するものではなく、支出予算内で、不足する科目へ予備費から充当する補正であると、説明した。

説明は、大・中・小科目について当初予算額、補正額、補正後額及び補正内容の順で備考欄を用いて行った。

また、欄外の注釈についても、軽自動車のリース契約に伴う補正と説明した。

その後議長は、質疑を問えば、会員の小野塚氏より大科目 3 固定資産取得支出の次に、大科目 5 予備費とあるが大科目 4 ではないかとの指摘があり、事務局長は、大科目 4 は特定預金支出であり、この科目の補正がないため予備費は大科目 5 で相違ないと説明し、了解を得た。

議長は、その後質疑を求めたが、質疑なく第 1 号議案 平成 14 年度社団法人庄和町シルバー人材センター収支補正予算書（第 2 号）（案）について議決を諮れば、全員拍手をもって賛同を得たので、議長は本件が可決承認されたことを告げた。

次に議長は、第 2 号議案 平成 15 年度事業計画書（案）について説明を求めた。

事務局長は、議案書の 2 ページから 1 の基本計画、2 の事業計画及び 5 ページの平成 15 年度事業計画予定（案）について概要説明を行い、3 ページ以降の部会及び委員会別計画については、各担当の理事に説明を求めた。

続いて、担当理事は、各部会ごとに説明を行なった。

その後議長は、質疑を求めれば、会員の関根 進氏より 3 ページ（3）事業実績について、積極的な開拓とあるが、薬剤散布業務の廃止はこのことに逆行しているのでは、との指摘があり、事務局長は、薬剤散布業者の届出等の事務処理は簡易に出来るが、本来のセンターの目的や意義をふまえると、業を営む団体ではないことから、大規模な薬剤散布業務は行わないこととするが、今後小規模な消毒業務等は検討していくとの答弁にて了承を得た。

議長は、他に質疑を求めたが、質疑なく第 2 号議案 平成 15 年度事業計画書（案）について議決を諮れば、全員拍手をもって賛同を得たので、議長は本件が可決承認されたことを告げた。

次に議長は、第 3 号議案 平成 15 年度社団法人庄和町シルバー人材センター収支予算書（案）について事務局に説明を求めた。

事務局長は、議案書 6 ページから、収入の部について大科目のみ予算額、前年度予算額、増減を読み上げ、内訳となる中科目については、予算額と内容を説明した。

次に支出の部について 7 ページの備考欄の訂正を行い、大科目のみ予算額、前年度予算額、増減を読み上げ、内訳となる中科目は予算額と増減を、小科目は、予算額と内容を説明した。

さらに、収支予算書にかかる注記事項についても、議案書 9 ページから説明した。

議長は、質疑を求めれば、会員の関根 進氏より 8 ページ管理費の人件費について、センター職員の人件費について、減額の必要性がないのではとの指摘があり、事務局長は、センターも補助金を受けている公益団体のため、現在の

社会情勢等が考慮された公務員等と同等の取扱となるため、人件費は削減になるとの回答を説明し、了承された。

また、会員の河本 忠光氏より第1号議案の軽自動車のリース金額の格差及び対象台数について質疑があり、事務局長は、予算補正時（平成14年度）については見積の金額で、契約後（平成15年度予算時）には、リース金額が確定したため、格差が生じた、また対象は1台であると説明し、了承を得た。

さらに、会員の藤井 要氏より、事業計画と決算報告を同一で行えないかとの質疑があり、事務局長は、国から当センターは予算総会を前年度中（予算執行前）に行い、決算報告はその後に行うよう2回に分けて総会を開催するよう指導されており、現在のように行っているものであると説明し、了承を得た。

議長は、他に質疑を求めたが、質疑なく第3号議案 平成15年度社団法人庄和町シルバー人材センター収支予算書（案）について議決を諮れば、全員拍手をもって賛同を得たので、議長は本件が可決承認されたことを告げた。

次に議長は、その他議案 平成15年度社団法人庄和町シルバー人材センター会員互助会収支予算書（案）について事務局に説明を求めた。

事務局長は、議案書10ページ 1の収入の部、2の支出の部の科目、予算額、前年度予算額、増減、備考の順で説明を行った。

その後議長は、質疑を問えば、質疑なくその他議案 平成15年度社団法人庄和町シルバー人材センター会員互助会収支予算書（案）について議決を諮れば、全員拍手をもって賛同を得たので、議長は本件が可決承認されたことを告げた。

4 議長は、これにて全ての議事が終了したことを報告し議長は議長の責務を終えたことを告げた。

5 本会議の決議を証明するため、議長及び議事録署名人において記名押印いたします。

平成15年3月20日

社団法人庄和町シルバー人材センター  
第26回 定期総会

議 長 水 谷 善 弘

議事録署名人 西 留 廣 志

議事録署名人 井 上 喜代子